



七月(大) 文月 昴宿

七月七日小暑の節より
月命癸未三碧木星の月
暗剣殺東の方

旧五月大
旧六月小

日	曜日	干支	九星	行事	旧曆	六輝	中段	共宿	下段	日出	入出	月入	満潮	干潮
1日	水	きのと	み	九星	半夏生二八時二〇分、全国安全週間、富国土山開き、銀行の日、一粒万倍日、旧五月大	十一	先負	とづ	軫	十	19.01	14.53	1.06	1.29
2日	木	ひのえ	うま	九紫	博多祇園山笠(1日~15日)、一粒万倍日	十二	佛滅	たつ	角	大みょう	19.01	16.03	1.44	1.48
3日	金	ひのひつじ	八白	不成就日		十三	大安	のぞく	亢	神よし	19.01	2.25	2.19	1.42
4日	土	つちのえ	さる	米国独立記念日		十四	赤口	みつ	氏	神よし	19.01	3.13	3.10	1.40
5日	日	つちのとり	六白	○望一三時四四分、榮西禅師忌		十五	先勝	たい	房	神よし	19.00	4.07	4.38	1.42
6日	月	かえいぬ	五黄	東京入谷朝顔市(8日迄)		十六	友引	さだ	心	大みょう	19.00	5.06	5.17	1.42
7日	火	かのと	る	小暑○時一四分、七夕、成田不動尊祇園会、奈良吉野蛙とび		十七	先負	さだ	尾	大みょう	20.07	6.08	6.08	1.42
8日	水	みづのえ	ね	八せん始め		十八	佛滅	とる	箕	天おん	21.28	7.10	7.10	1.42
9日	木	みづのとうし	二黒	東京浅草観音ほおずき市、鴨外忌		十九	大安	やぶ	斗	十	22.00	8.11	8.11	1.42
10日	金	きのえ	とら	東京浅草観音四万六千日、佐原の大祭(12日迄)		廿	赤口	あやぶ	牛	母倉	22.29	9.10	9.10	1.42
11日	土	きのと	う	不成就日		廿一	先勝	なる	女	神よし	22.56	10.07	10.07	1.42
12日	日	ひのえ	たつ	草市、福島伊須美田植祭、大阪生国魂神社夏祭		廿二	友引	おさ	ん	大みょう	22.56	11.02	11.02	1.42
13日	月	ひのと	み	下弦八時二九分、ぼん迎え火、東京靖国神社みたま祭		廿三	先負	ひらく	危	くゑ日	23.22	11.58	11.58	1.42
14日	火	つちのえ	ま	熊野那智大社扇祭、三隣亡、一粒万倍日		廿四	佛滅	とづ	室	●	23.48	12.53	12.53	1.42

月の初めにはまだ梅雨期が残っていることもあるが、本格的な夏型の天候、気候になる。ただし最近是不順なことが多く、冷害や集中豪雨に見舞われることもある。

【冠】七日は「七夕」(たなばた)五日節句の一つ「棚機」の日である。織姫の名にちなんで、昔は女子の裁縫の上達を願ったものであるが、最近では芸芸はもとより、書道、音楽、学習全般などの願い事まで、祈るようになった。色紙や短冊のように願いを書いて飾る。近ごろでは町ぐるみ、都市ぐるみのお祭り行事になっているところもある。とくに仙台や平塚の「七夕まつり」は全国的に有名である。

【葬】死者を送って最初のお盆を特に「新盆」といい、戸外に葉つきの青竹を四隅に立て、上のほうをわら縄で結び、盆花(栞梗の別称)などをかけ、白張りの提灯

日	曜日	干支	九星	行事	旧曆	六輝	中段	共宿	下段	日出	入出	月入	満潮	干潮
15日	水	つちのひつじ	五黄	ぼん、山形出羽三山花祭		廿五	大安	たつ	壁	大みょう	4.37	18.57	18.57	1.42
16日	木	かえいぬ	さる	ぼん送り火、やぶ入り、賽日、初伏、えんま詣り、国土交通デー、庚申		廿六	赤口	のぞく	奎	大みょう	4.37	18.57	18.57	1.42
17日	金	かのと	とら	京都八坂神社祇園祭、小倉祇園太鼓(19日迄)、一粒万倍日		廿七	先勝	みつ	妻	神よし	4.38	18.56	18.56	1.42
18日	土	みづのえ	ね	勤労青少年の日		廿八	友引	たい	胃	大くわ	4.39	18.56	18.56	1.42
19日	日	きのと	ら	土用一四時一三分、京都松尾大社御田祭、八せん終り、不成就日		廿九	先負	さだ	ん	ぢう日	4.39	18.55	18.55	1.42
20日	月	きのえ	ね	九星陰通始め、山口祇園祭(27日迄)、甲子		三十	佛滅	とる	畢	天おん	4.40	18.54	18.54	1.42
21日	火	きのと	う	朔二時三三分、土用の丑	旧六月小	朔	赤口	やぶ	觜	十	4.41	18.54	18.54	1.42
22日	水	ひのえ	とら	大暑一七時三七分、熊谷うちわ祭、敦賀気比神宮総参祭		二	先勝	あやぶ	参	天おん	4.41	18.53	18.53	1.42
23日	木	ひのひつじ	六白	海の日、宇和島和霊祭、塩籠みなど祭		三	友引	なる	井	神よし	4.41	18.53	18.53	1.42
24日	金	つちのえ	たつ	東京オリンピック開会式、スボーツの日、地蔵ぼん、河童忌、大田原大田山土地蔵尊夏大祭		四	先負	おさ	ん	天おん	4.43	18.52	18.52	1.42
25日	土	つちのとみ	四緑	大阪天満天神祭、徳島天神祭、和歌山粉河祭(26日迄)、己巳		五	佛滅	ひらく	柳	くゑ日	4.44	18.51	18.51	1.42
26日	日	かえいぬ	三碧	相馬野馬追大祭(25日~27日)、中伏、大つち、三隣亡、一粒万倍日、不成就日		六	大安	とづ	星	●	4.44	18.50	18.50	1.42
27日	月	かのと	ひつじ	上弦二時三三分、神奈川大山阿夫利神社夏季大祭		七	赤口	たつ	張	大みょう	4.45	18.50	18.50	1.42
28日	火	みづのえ	さる			八	先勝	のぞく	翼	神よし	4.46	18.49	18.49	1.42
29日	水	みづのとり	九紫	一粒万倍日		九	友引	みつ	軫	神よし	4.47	18.48	18.48	1.42
30日	木	きのえ	いぬ	大阪住吉祭(8月1日迄)		十	先負	たい	角	月とく	4.47	18.47	18.47	1.42
31日	金	きのと	ら	京都愛宕千日詣り、芦ノ湖湖水祭、宇佐神宮夏越大祭(8月2日迄)、堺大魚夜市		十一	佛滅	さだ	ん	ぢう日	4.48	18.46	18.46	1.42

をつるす本格的な行事を行うところもある。お盆は、盂蘭盆の略で昔から家単位の大なる行事になっていた。地方により多少祀り方は違うが、精霊棚を作りお位牌を安置し、野菜、果物、ソーマン、団子などを供えるのが普通である。仏壇に簀簍(すいとう)を敷いて代用する。牛、馬の形を作りつて供えるところもある。十三日の夕刻、迎え火といつて仏を迎え、十五日に僧侶に読経してもらい、十六日に送り火をたいて冥界(めいかい)に送る。お盆の供え物は川や海に流すのが普通で、小さな舟を作り、それに灯籠を載せて流す風習も各地に残っている。

【祭】中元の習慣は中国に発する。正月十五日を「上元」、七月十五日を「中元」、十月十五日を「下元」、合わせて三元とし、金品をささげて贖罪(しよくざい)をする日といふ伝えられており、これがわが国で形が変わり、縁故者や目上、恩人に贈り物をして、感謝の心を表すものとなったのである。